

学位被授与者氏名	王 棋 (おう き)
論文題目	“V上”的認知語義虛化及相關的漢日比較研究 (“V上”における認知的な意味拡張に関する中日比較研究)
論文審査結果の要旨	<p>空間と時間に対する認識は認知の重要な内容で、空間表現に関する研究も認知言語学の重要なテーマとなっている。中国語の方向補語は代表的な空間表現の形式として、これまでに様々な角度よりよく研究されている。本論はその中から“V上”を選んで、認知拡張意味を考察し、日本語との比較対照を行い、両言語の異同点をまとめ、相違の生じた原因の分析を試みたいという研究目的は修論として評価でき、またこの目的はある程度達成したと思われる。</p> <p>本論の第3章でまとめられた「達成」「趨近」「産出」「添加」「起始」「積量」などの“V上”の認知拡張意味及びこの6種類の意味に相当する日本語の表現との比較は、特色があり、充実で数多くの用例も本論観点の証明になり、従来の研究の補足として認められ、またと第二言語教育にも参考になると考えられる。</p> <p>本論文全体の構成、分析方法・術語の使用、認知図表の設計なども概ね適当で、A4用紙85頁に及んでいる分量もある意味で完成度の高いことを反映していると判断できる。</p> <p>しかしながら、一部の分類・帰類標準についてはまだ再考する余地があり、第3章と第4章の内容には部分的に多少重複が見られる。日訳に対する作者の「できるだけ原作品から引用する」という努力が評価できるが、さらに推敲しなければならないところもあると思われる。</p> <p>平成27年2月20日に、北九州市立大学北方キャンパス3号館320教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(中国言語文化)として十分な内容であると判定した。</p>